



～はげましあって楽しく子育て～

《参加したママさんより一言》

ももさん・・・1歳2ヶ月の子どもがいます。4月から保育園に通っています。

M1さん・・・1歳9ヶ月の子が卒乳3日目です。夜中少しおっぱいを欲しそうにしています。寝かしつけの方法を聞きたいです。

Nさん・・・2人の子どもがいます。2年前、里帰り出産をした際サークルに参加して、完全母乳で育てることができました。上の子が下の子の授乳中おっぱいを欲しそうにしています。上の子の対応法を聞きたいです。

M2さん・・・卒乳したけど、参加しました。

M3さん・・・2人のこどもがいます。上の子は混合から完全母乳になって、2歳半で卒乳しました。

ぽっちさん・・・4人のこどもがいます。

《寝かしつけ》

Nさん・・・枕元に麦茶を準備して、絵本で寝かしつけをしている。

M1さん・・・だっこをしている。

M2さん・・・卒乳1ヶ月前頃から、寝かしつけの授乳中子守唄を歌っていた。卒乳後も子守唄で寝かしつけをして、夜中はちょこちょこ起きて水を飲んでいる。

M3さん・・・疲れるまで運動させたり、抱っこしたりしている。

ぽっちさん・・・姉妹で寝かしつけをしてくれた。

ももさん・・・家では母乳がないと寝ないが、保育園ではおっぱいなしでも寝ている。

《上の子への対応》

最近、頻繁におっぱいをくわえに来るようになった。(吸ってはいない)

M3さん・・・3歳のとき兄弟ができた。上の子に「飲む？」と聞くと、飲むふりをしていて。とりあえず上の子優先にしていた。

「ダメ」と言うと下の子に対して攻撃的になってしまう。下の子の授乳中も「こうやって飲んでたよね」など声をかけて、まず自分が感情的にならないようにしている。「お兄ちゃんのおかげでできているね」フォローをしている。

寝太郎先生・・・母乳を長く飲むこと自体に問題はない。心の栄養としての側面もある。

《妊娠中の授乳》

Nさん・・・妊娠中、病院で断乳を勧められた。

M3さん・・・妊娠中、産婦人科には黙って、授乳を続けていた。つわりがきつくなり、子どもと話し合っただけで卒乳した。

寝太郎先生・・・妊娠すると断乳を勧められることが多いが、普通は授乳を続けても全く問題ない。授乳と流産は直接関係なく、流産のほとんどは胎児が育ちきれない異常がある。自分たちで母乳の勉強をして、できるだけ母乳を続けていくために、サークルの大切さを感じる。

M3さん・・・上の子は、混合から自然に完全母乳になった。2人目の出産のとき、産婦人科に母子同室・完全母乳にしたいと希望した。サークルでの知識があったから最初から母乳で育てることができた。

《乳腺炎》

知り合いが高熱が出たとき、病院で「母乳をやめて絞ってください」と言われた。

寝太郎先生・・・こどもに吸ってもらうのが一番。風邪などの高熱の場合、うつるからと断乳を勧められることがあるが、風邪は空気(飛沫)感染であって、母乳が原因でうつるのではない。

みいちゃん助産師さん・・・乳腺炎は吸ってもらうのが一番いい。詰まっているほうに下顎があたるようにして飲ませる。頻回に飲

ませるのがいい。痛みや熱できつい時は、鎮痛剤を勧める場合もある。母乳を通しての薬は、ほとんど影響はない。

寝太郎先生・・・妊娠中と授乳中は違う。妊娠中は飲めない薬でも授乳中は大丈夫なものが多い。

みいちゃん・・・母親が風邪などにかかった時、免疫物質が母乳に分泌されて赤ちゃんを守っているのだから、母乳を続けた方がよい。

寝太郎先生・・・漢方薬では母親に薬を飲ませて母親の治療をすると同時に、母乳を通じてこどもに薬を飲ませる方法もある。

《予防接種》

M2さん・・・三種混合の時、副反応がでたので、日本脳炎の予防接種を受けさせたいが、副反応が心配。ワクチンをうったら毎回機嫌が悪くなる。

寝太郎先生・・・あるワクチンで副反応があったからといって他のワクチンでも副反応がでる人は少ないが、個別に相談して決めましょう。三種混合の追加は半分近くの人腫れるが心配ない。

M2さん・・・日本脳炎の予防接種は1～2回のみ接種や、接種の期間が空くと、効き目はどうなるのですか？

寝太郎先生・・・日本脳炎ワクチンは、来年の目処が立っていない。間隔が空いても途中まででもできる時にした方がよい。

この他、母乳と薬の話や、子どもが中耳炎になった時、母乳で治す方法などの話で盛り上がりました。

文：まいまい